

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2025年 10～12月期の景況 / 2026年 1～3月期の見通し

宇都市内における中小企業の業況は依然厳しいものの、来期は一部を除き回復の兆しが見られる。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業（下記DATA参照）の景気動向等を把握するため、2025年10～12月期の実績と2026年1～3月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より2.0%の悪化となった。業種別では、小売業は▲23.5%から▲18.8%へ、サービス業は▲20.7%から▲18.5%へと回復した。建設業は▲12.0%から▲18.5%へ、製造業は▲10.5%から▲16.7%へ、卸売業は▲26.3%から▲30.0%へと悪化した。

今期中に新規設備投資を実施した企業は35.7%、来期設備投資を実施予定の企業は34.7%であり、今期よりも1.0%減少する見込みである。

経営上の問題点については、人手不足とコスト上昇が中心で、建設業、卸売業、サービス業は「従業員の確保難」、製造業と小売業は「原材料・仕入価格の上昇」が最上位となり、「人件費の増加」は全業種共通の重荷となっている。

DI（ディフュージョン・インデックス）とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不变」「下降」をもとに、景気変動に関する複数の指標を合成して算出する。

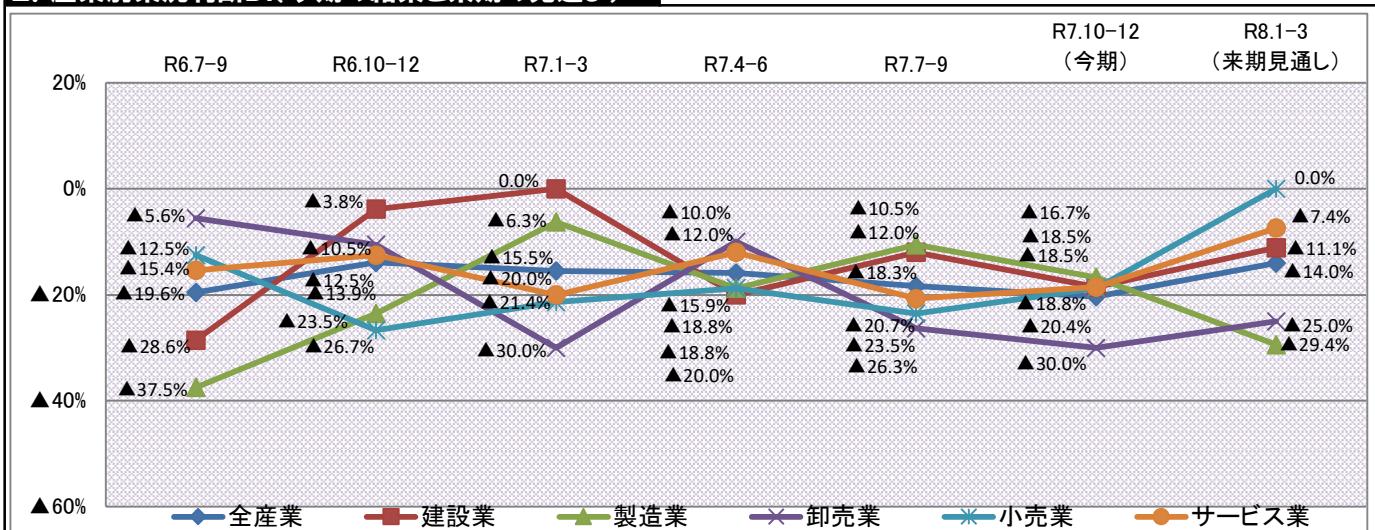
DATA

- 調査期間：令和7年12月8日～12月19日
- 調査対象：宇都市内の中小企業124社
- 有効回答企業数：110社（88.7%）

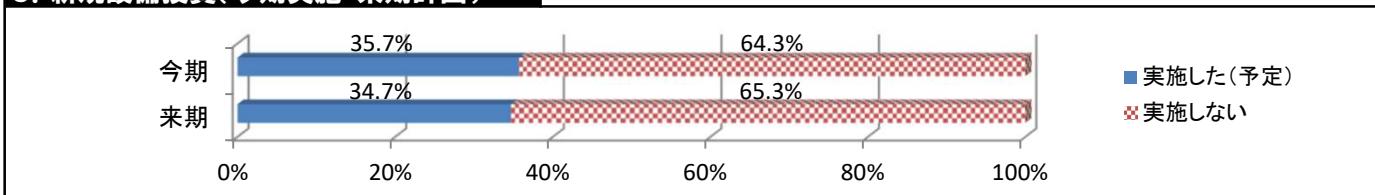
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲20.4%	▲2.0%	▲20.2%	▲4.7%	▲4.7%	▲1.0%	▲18.3%	3.7%	▲13.2%	▲10.4%
建設業	▲18.5%	▲6.5%	▲44.4%	▲28.4%	▲3.8%	0.2%	▲29.6%	▲17.6%	▲14.8%	▲2.8%
製造業	▲16.7%	▲6.1%	▲22.2%	▲17.0%	0.0%	▲10.5%	▲11.1%	4.7%	▲11.1%	▲11.1%
卸売業	▲30.0%	▲3.7%	▲10.0%	16.3%	0.0%	5.3%	▲5.0%	21.3%	▲15.8%	▲10.5%
小売業	▲18.8%	4.8%	0.0%	0.0%	▲23.5%	▲11.8%	▲11.8%	11.8%	▲26.7%	▲20.0%
サービス業	▲18.5%	2.2%	▲14.8%	9.3%	0.0%	6.9%	▲25.9%	5.1%	▲3.7%	▲10.8%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	
1位	従業員の確保難	19.7%	原材料価格の上昇	23.4%	従業員の確保難	22.4%
2位	材料価格の上昇	15.5%	生産設備の不足・老朽化	12.8%	需要の停滞	18.4%
3位	民間需要の停滞	12.7%	人件費の増加	12.8%	人件費の増加	14.3%
4位	人件費の増加	11.3%	需要の停滞	12.8%	仕入単価の上昇	12.2%
					消費者ニーズの変化への対応	8.5%
					材料等仕入単価の上昇	11.6%
					従業員の確保難	17.4%
					人件費以外の費用の増加	13.0%
					人件費の増加	11.6%